

地方創生推進のワークショップ

岐阜県の加茂地域（6市町村）と下呂市が連携してあらたな地方創生の戦略を策定しようとワークショップをしています。そこには、行政職員（企画や観光、関係する部署）と地域おこし協力隊のみなさんが参集しています。

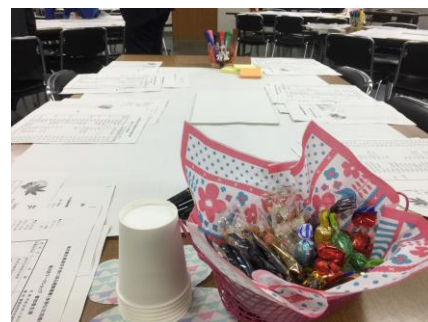
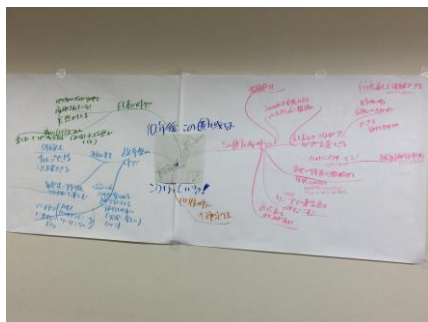
そのワークショップのファシリテートをさせていただいています。

☆地方創生の実現にむけて

このワークショップは、昨年度策定された地方創生の戦略プランを RESAS を活用し、より効果的なものにして実現させようというものです。（RESAS は、Regional Economy (and) Society Analyzing System の頭文字をとって名づけられました。内閣府地方創生推進室が地方版総合戦略に役立てようとオープンにしている地域経済分析システムです。）

☆進め方は

RESAS の分析からより実態に近いプランのアイデア出しをし、さらに参加者の範囲を広げて、地元の意見、よそ者、若者の意見を入れながらアイデアを出します。その後、事業を着手する優先順位を決め、それを推進する事務局の機能と担い手の検討を行っていきます。



☆地域内の協働が求められる

外部から地元に来ている地域おこし協力隊の方々の想いと意見、地元の職員の想いと意見を同じテーブルで語り合うことも今までには見られないことです。そして、何らかの案を合意し、実行に移していきます。協働（co-production）が求められます。その中心を担う事務局も重要な役割があります。その担い手をどのように採用・育成していくのかについても合意が必要になってきます。

実行の段階で齟齬が起らないようにワークショップの段階で基本的なことを合意しておきたいとプログラムを組んでいます。

☆この取り組みが本当に成功してほしいと思っています。そのために、ファシリテーターができることは大きくはないのですが、微力ながらできることをしっかりと行いたいと取り組んでいます。このような貴重な機会を与えていただいたことに緊張していますが、感謝しています。